

令和 6 年度
LNG 燃料の夜間・錨泊中のバンカリング実施
に向けた検討委員会

報告書構成（案）

令和 7 年 3 月 7 日

株式会社 日本海洋科学

1 調査の概要

- 1.1 調査の目的
- 1.2 調査の内容
 - 1.2.1 錨地における StS 方式での移送限界条件の検討
 - 1.2.2 錨地における StS 方式のバンカリング実施手続き
- 1.3 検討方法等
 - 1.3.1 検討委員会の名称
 - 1.3.2 検討内容
 - 1.3.3 検討委員会の開催日時
 - 1.3.4 検討委員会の構成

2 錨地における 2 船間係留解析結果

- 2.1 目的
- 2.2 検討方法
- 2.3 解析モデルの改良
 - 2.3.1 LNG 燃料船とバンカー船の流れ荷重係数の見直し
 - 2.3.2 計算時間の変更
 - 2.3.3 計算条件の見直し
 - 2.3.4 モデル改良
- 2.4 計算条件
 - 2.4.1 対象船舶
 - 2.4.2 座標系
 - 2.4.3 風荷重係数
 - 2.4.4 流れ荷重係数
 - 2.4.5 係船条件
 - 2.4.6 環境条件
- 2.5 評価方法
- 2.6 解析及び評価結果
 - 2.6.1 相対動揺量等の解析結果
 - 2.6.2 評価結果
- 2.7 結果のまとめ
 - 2.7.1 錨地における 2 船間係留時の解析結果
 - 2.7.2 相対運動量に対する許容値について
 - 2.7.3 錨地での StS 移送限界条件設定について

3 ガイドライン反映の方針

- 3.1 運用条件について

- 3.1.1 検討結果
- 3.1.2 ガイドラインへの反映方式
- 3.2 錨地における StS 方式のバンカリング実施手続き
 - 3.2.1 検討結果
 - 3.2.2 ガイドラインへの反映方式
- 3.3 錨泊中における周囲航行船舶への対応等
 - 3.3.1 検討結果
 - 3.3.2 ガイドラインへの反映方式
- 3.4 事業者が実施すべき危険物取扱規程の承認を受けるための手続き
 - 3.4.1 検討結果
 - 3.4.2 ガイドラインへの反映方式

【検討委員会議事概要】

検討委員会 議事概要

【巻末 参考資料】

参考資料 Ship to Ship 方式 LNG 移送のオペレーションガイドライン改訂（案）

